

豫約募集告白

●本書は已に發行し江湖の喝采を得たり校正を嚴正にして印刷上一字一點の誤植なきを保證す

ホッケット入

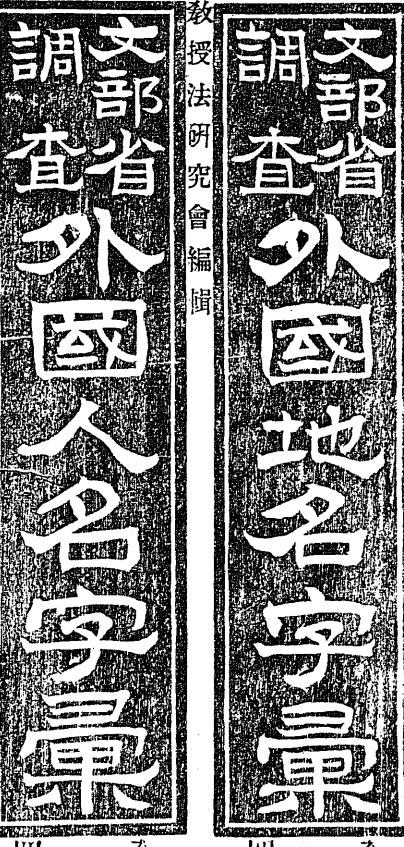
全

袖珍美本

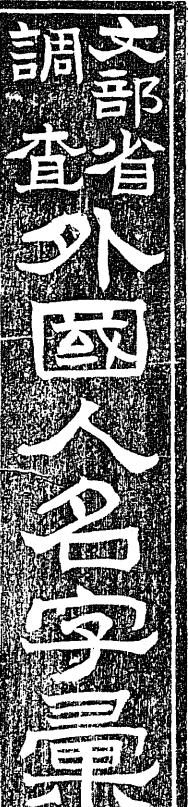
定價十五錢



冊 郵稅貳錢



四六版五百
五百餘頁
豫約價金壹圓
郵稅六十五錢
定價金十錢



一冊 全
四六版五百
五百餘頁
豫約價金壹圓
郵稅六十五錢
定價金十錢

豫約價金六十五錢、郵稅金十錢宛
豫約申込期限明治三十六年一月廿日限
申込は前金にあらざれば謝絶す。期限の經過後は直ちに定價に復す
發行所并豫約申込所 東京日本橋區本石町三丁目廿三番地 金昌堂
豫約申込所 神田神保町中西屋書店 全神保町東京堂 京橋鎗屋町北隆館
大坂備後町四丁目 石井集成堂 全銀坐四丁目 東海堂 京都二條通河原町 岩田金港堂 良明堂

●地名字彙編輯主意●

- 一、文部省調査の地名により其の位置所屬政體風俗沿革及今日世界の文明に関する重要な事項を悉く列舉して毫も遺憾なからしむ
- 一、現我國に行はるゝ諸種の教科書を参考として其の粗密を制し且つ許多の専門書類は勿論歐米に行はるゝ地名字書數種を根據とし以て教育上の参考たらしむると同時に専門攻究の人士の寶典たらしむ
- 一、同名異質の者も一々摘載して餘さるんことを期す
- 一、即教育上必須の参考書たると共に専門の大地名辭書たらしむ
- 一、新定語よりなる各國地圖數葉を加へて其所在を明かにす
- ◎五十音の順序に排列し以て索引に便ならしむ

●人名字彙編輯主意●

- 一、文部省調査の人名により其の生國生沒年職業特に人文史上に於ける著しき行動を擧げて間然なからしめんとする
- 一、現我國に於ける諸種の教科書を参考とし且つ許多の顯著なる歴史は勿論歐米に行はるゝ人名字書を根據とし以て教育上の好参考たらしむると共に専門人士の寶典たらしむ
- 悉く之れを摘載せり
- 一、故に教育上必須缺ぐべからざる寶典たるのみならず又無類空前の大人名字書たるべきなり
- ◎五十音の順序に排列し以て索引に便ならしむ

●見本及豫約規則御用ノ方ハ郵券二錢ヲ添へ申込ヲ乞フ

ノルマントンの部

本國地名字彙見本

ブリイトン (Brighton) ロンドンの直南五十哩にあり、イギリス海峡に臨み東半は白堊紀の絶壁の上に位し、西半は砂礫多き低地に擴がる。英國にて最も有名なる海水浴場にして。ロンドンには漁車一時間にて達するところを得。人口一一千〇〇〇、劇場學校等の建物多し。

ブリンディシ (Brindisi) 伊太利南端にあり、其輪状を爲せる陣に位す。アドリア海に臨める小港あり、人口一一〇〇〇。歐洲南部を走る鐵道幹線の終點にして、英國の東洋郵便線にあたる。さればロンドンにて集めたる郵便物は先づ陸路此地に送り、茲よりヨーロー會社の漁船に搭載して、印度並に東洋諸國に送附するものとす。

ブルターニュ (Bretagne)

佛蘭西の中央高臺の山脈西北に走り、太西洋中に突出したる三角形の半島なり。海岸線の風屈頗る多く、長五百哩に及ぶ、長百八十五哩、幅百五哩、面積一三〇八五方哩、現今五州に分たる。ブルターニュの名は、蓋しアングロ・サクソンの侵入の爲に、アリテン島より北地に移住せる人民が、紀元五世紀頃より名けしものならん。

ブレーメン (Bremen)

獨逸の三自由市の一つ、ウエーゼル河の岸にあり、海より五十哩。市は三部より成り、舊市及其廓外は右岸にあり、新市は三十年戦争以後出来たるものにして左岸にあり、舊城塞は今や美しい公園に改造せられたるも、新舊市街共に尙濠を繞らせる。建物は多く舊市街の中に入り、圓天井を有する舊教寺院、四百呎の高塔を有するセントオーフィシア寺、其他俗場、商業會議所、銀行、學校等頗る多く。工業には烟草製造、砂糖製造所、石鹼製造所等あり。外國貿易上ハノブルグに匹敵して、重要な地位を占む。又移住民の出發港として、其名を知らる。取引國には米國、英國、印度及露西亞あり。輸入の主なるものは、綿花、烟草、咖啡、麥米、石炭、鐵材等にして、此等を精製して再び輸出す。人口一二四、〇〇〇、北獨逸漁船會社の本社あり。

ブレンネル越 (Brenner Pass)

オーストリアのインストリックよりイタリアのオーナに通ずるアルプス越なり、高六七八八呎。鐵道は四七五五呎の處を越す。オーストリア政府の敷設する所にして、一哩に一四〇〇〇〇弗を費したり。云ふ、トンネルの數二十七、中に一、八〇〇呎のもの二、一〇〇駅のものあり、一八六七年に竣工せるもの。

アソカ (Asoka, Asoka, 阿育王、無憂王、阿輸迦) 紀元前凡そ三世紀の頃、印度のベータリ・ブツトラに生る。最大なる印度王國の一たるマガダ王なり、性極めて狂暴にして、始め其の父を殺さんとして國内より追放せられたりしか、其の後父の死を聞きて急ぎ國に歸り、一人を除く外、他の兄弟は悉く之を殺し、自ら王位にかけり。故に人稱して「暴王アソカ」といへり。然れども後大に佛教を信じ、之に歸依するこそ甚しく、終に八万四千の法門になぞらへて、八万四千の寺院を建設したりといふ。此に於て「律法のアソカ」の名を得たり。是即ち佛の律法に從ひたればなり。

アブデルカーデル (Abd-e-l Kader) 1807—1883 アルゼリアに生れダマスクスに死す。夙に十四歳の時、「ローラン」を暗誦し得る程の記憶力を有し、且文學上の修得ありて、其の辯舌亦た爽快なり。加之馬術に妙を得たること、馬上生活をなすといふアラビヤ騎兵中彼に敵するものなし。而して敵虜の念に富み、非凡の才を有せしかば、一八三〇年アルゼリヤに侵入せし後、直にアルゼリヤに於けるアラビヤ族の酋長となり、佛國の侵入軍を防禦すること十數年、終に一八四七年捕虜さ

なりて佛國に送られ、一八五二年ルイナボレオンに由て許され、其後はアルサ及びダマスクスに住したり。一八六〇年、シリアに於ける耶穌教徒が虐殺せられんさせしき、一身の危険を忘れて耶穌教徒を防禦したり。此の如く氏は近古に於ける尤も有名なる人なり。

アドルフ (Adolphus) ... 1438—1477

ゲルナルランダ代の公アーノルドの子なり、父不和にして、一四五五年俄に父を捕へて之を幽し、以て讓位を迫れり。然れどもバーカンザーハルスに迫られて父を許し、却て自ら數年間獄に投ぜらるゝに至れり。チャールス大公死後、許されしが間もなく殺されたり。

アドルフ一世 (Adolphus I) ...?—1131

ホルスター伯にして、十一世紀の頃にありし多くの著名なる人々の一人なり、政治家として知られ、耶穌教の傳播者として知られる。アドルフ一世の子にして父の後を受く、初めサクソニー公ヘンリー、及びスレスウイック公マグヌスを戰ひて利あらざりしか、其後漸次勢力を得て、全くカエンザーハルスを征服し、殖民地を設けたり、今のリーベック等は此時より始まり。

アの部

◎會長 高橋九二吉君 ◎教授主任 石井泰次郎君

割烹及禮節修學會員募集

本會は會長に主任に其人を得て宮中臣民兩様の禮節に割烹に其家統及學統を一括して他に其比なきを得たり故に此二學科に付て修學せんと欲する生徒諸氏は勿論又此二道を應用なしたまふ有志諸君は進んで御入會あらば其利益少々ならじ、

〔注意〕現今禮節に割烹に東京に地方に教授する者は悉皆本會々長及主任が家の門下生なるがもし門下生ならずと云ふ者は偽稱者なれば深く注意して學校其他家庭に此學科を置く方々は其眞偽を分ちたまはん事を希望す

○本會規則入用者は郵券封入御申込あるべし

○在京會員は學會内教場につきて割烹及禮節を修學する事を得

○地方會員は料理講義錄を發送すれば教場の學科を簡明に修學する事を得

東京市京橋區
鈴木町十二番地

同

大日本割烹學會

